

トップメッセージ

株式会社博報堂DYホールディングス
代表取締役社長
(博報堂DYグループCSR委員会 委員長)
戸田 裕一

戸田 裕一



博報堂DYグループの歩み

2003年10月の博報堂、大広、読売広告社の経営統合により、博報堂DYホールディングスを発足。同年12月 総合メディア事業会社である博報堂DYメディアパートナーズを設立し、「博報堂DYグループ」が誕生いたしました。

当社グループは、あらゆる環境変化に積極的に取り組み、クライアントのマーケティング課題に対して、常にベストクオリティのソリューションを提供し続けてまいりました。

そして本年度、「企業のベスト・マーケティング・パートナーとして、世界一級のマーケティングサービス企業集団を目指す。先進的かつ創造的な統合マーケティング・ソリューションの提供を通じて、新たな市場やムーブメントを創造し、社会／生活者に活力を与え続ける存在になる」ことを新しい中期経営計画の基本戦略として掲げました。

博報堂DYグループは新たな成長を目指してこれからも精進してまいります。

生活者発想とパートナー主義

当社グループは設立以来「生活者発想」と「パートナー主義」をポリシーとして掲げてきました。

「生活者発想」とは私たちの発想の原点です。人々を「消費者」ではなく、社会の中で主体性を持って生きる「生活者」として捉え、生活者を深くまると洞察することで、新しい価値を創造していくという考え方です。

「パートナー主義」とは私たちのビジネスの原点です。常に生活者視点に立ってパートナーであるクライアント、媒体社のビジネスを見つめることにより、長期的な関係を築き、継続性のあるソリューションを提供していくという考え方です。

生活者発想とパートナー主義は、私たちグループのCSR活動の基盤となっています。

博報堂DYグループのCSR

2003年の当社グループの誕生から10年、この間グループ各社それぞれがCSR活動に取り組んでまいりました。

そして本年、「博報堂DYグループCSR委員会」を博報堂DYホールディングスに設立し、私が委員長に就任いたしました。

博報堂DYグループCSR委員会の役割は、いままですグループ各社それぞれで進められてきたCSRをグループ全体で共有し、より多くの社員の意識を高めること。そしてこれらのアクションを社会に積極的に開示し、上場企業としての責任を果たしていくことです。

生活者、社会の刻々と変化する課題を解決し、新たな価値を提供していくことによって、生活者、社会の中に新しい幸せを生み、幸せをつなげ、ともに広げていくこと。これが当社グループが目指すCSRの基本理念です。

Advanced CSRとBasic CSR

これに併せ、当社グループの活動等をまとめた初の「CSRレポート」を発刊する運びとなりました。

本レポートでは、当社グループならではの積極的なCSRアクション“Advanced CSR”と、CSRの基盤となるアクション“Basic CSR”を紹介しています。

Advanced CSRは、グループ社員一人ひとりが自らの仕事をCSR視点で見つめなおすことから生

まれた「日々の仕事を通じて取り組む」。そして社員一人ひとりが持っているナレッジやスキルを活かした「クリエイティブの力を活かす」、「伝える力を活かす」、「共創する力を活かす」という当社グループ独自の4つのカテゴリで構成されています。

「自分の仕事は社会的責任を果たしているか?」、「もっと社会のためにできることはないか?」社員一人ひとりが主体的に考え、生活者、社会の渦の中に飛び込み、新たな渦をつくりだし、動かしていくことによって生まれたソーシャルアクション、それが当社グループのAdvanced CSRです。

Basic CSRは、当社グループに求められる基本的な社会的責任を遂行するものです。国連グローバル・コンパクト(GC)の10原則、そして国際規格であるISO26000の7つの中核主題に従ってCSRの基盤となるアクションを整理し実践しています。

社員一人ひとりの志のもとに

博報堂DYグループは、グループ各社社員一人ひとりが持つ志のもと、クリエイティビティ、知見や技術、行動力をもって、より積極的に、柔軟にCSRを継続進化させ、社会的責任を果たしてまいります。

ステークホルダーの皆様には当社グループのCSRに対するご意見、ご要望をお寄せいただけますようお願い申し上げます。